

トイレ入口



アールヌーボー様式の柱デザインをイメージし、地下鉄各駅共通のサインを掲示した入口。女性トイレ入口の右側には、休憩や待ち合わせに使えるベンチを設置している。

女性トイレ 洗面コーナー



壁面の意匠と鏡裏の間接照明やブラケット照明により、柔らかく優美な雰囲気が演出された洗面コーナー。手洗い後の床への水垂れを抑えるため、洗面器の間にクリーンドライを設置している。

男性トイレ 洗面コーナー



男性トイレの空間は、落ち着いた内装カラーで演出されている。洗面器の間にクリーンドライを設置。洗面器1ヶ所はお子様の利用に配慮し、高さを低めに設置している。

女性トイレ 大便器コーナー



天井高さを活かした交差ヴォールト天井が、優美な広がりのある空間を創り出している。さまざまな利用者に配慮し、ベビーカーごと入れるひろびろブースやフィッティングルームを用意している。

女性トイレ パウダーコーナー



利用者の好みで使い分けられるように、スタンディングタイプとシットイングタイプを用意した。シットイングタイプはガラスで間仕切り、プライバシー感を演出。ブースごとにコンセントも設けている。

男性トイレ パウダーコーナー



オンからオフへ気持ちを切り替える場所として利用していただけるよう、女性だけでなく男性トイレもパウダーコーナーを充実。休憩利用できるように椅子を設置。カウンターには、手荷物用フックを取り付けている。

男性トイレ 大便器ブース



全ブースに清掃性に優れた壁掛け式大便器を採用。男女トイレ共に、オストメイトや小さなお子様連れ対応など、設備に特色を持たせたブースを設けることで、多機能トイレの機能分散化を図っている。

多機能トイレ



車いす使用者やオストメイトなど様々な障がい者の利用を想定して、パウチしびん洗浄水栓やパブリック用折りたたみシートなどの器具を完備。介助者の操作に配慮して、大便器の洗浄ボタンは2ヶ所に設置。

建築概要

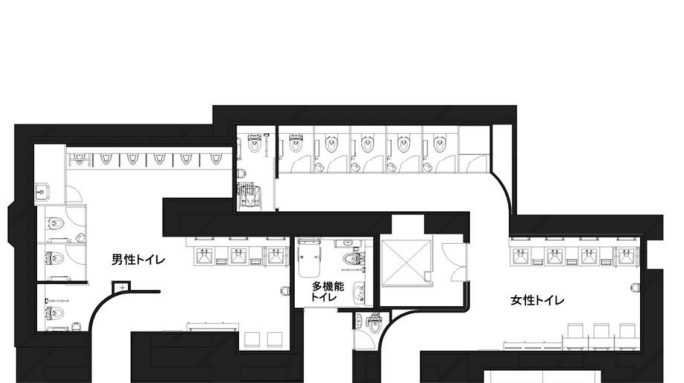
名 称	Osaka Metro 御堂筋線 淀屋橋駅
所 在 地	大阪市中央区北浜3丁目6番14号
施 主	大阪市高速電気軌道株式会社 (旧大阪市交通局) 鉄道事業本部 建築部
設 計	ジーク株式会社 京都店 大阪市高速電気軌道株式会社 (旧大阪市交通局) 鉄道事業本部 建築部
施 工	<建築>コーセン建設株式会社 <設備>株式会社千里技研 ツカサエンジニアリング株式会社
竣工年月	(改修)2014年12月

男性トイレ 小便器コーナー



洗練された空間にふさわしく、デザイン性と機能性に優れたRESTROOM ITEM 01の小便器を採用。利用者のプライバシーに配慮し、小便器の間に間仕切りを設けている。

トイレ図面



水まわりの特長

<改修の経緯>
Osaka Metro御堂筋線の主要駅のひとつである「淀屋橋駅」。大阪役所をはじめ、大阪を代表するオフィス街に位置し、周辺は、重要文化財の「淀屋橋」など歴史建造物が現在も残る観光スポットでもある。特に北改札トイレは、京阪電車との乗換口でもあり、平日・休日を問わず、多くの利用者が混雑を呈している。大阪市高速電気軌道株式会社(旧大阪市交通局)では、駅トイレの3K(汚い・臭い・暗い)イメージを払拭し、お客様へのサービスの向上を目指して駅トイレのリニューアルを順次進行中。今回の淀屋橋駅北改札トイレ改修では、意匠性・快適性ともに、駅トイレのイメージを超えた劇的な改善を行った。

<トイレの特長>
トイレのデザインコンセプトは、「YODOYABASHI NOUVEAU(淀屋橋ヌーボ)」。『淀屋橋』の由来であるアールヌーボー様式の橋をモチーフとし、時の移りや人や間をつなぐ架け橋となるようにとの願いを込めた。地下駅では珍しい、天井高さを活かした交差ヴォールト天井が空間に優美な広がりを与えている。また、この駅の特性として、ビジネスマンの利用が多いことから、女性トイレだけでなく男性トイレもパウダーコーナーを充実させた。オンからオフへ気持ちを切り替える場所として、仕事帰りにふらっと立ち寄りたくなるトイレへと生まれ変わった。